



平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月10日

上場会社名 株式会社クレステック 上場取引所 東
 コード番号 7812 URL http://www.crestec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高林 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 三輪 雅人 TEL 053-435-3553
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績（平成27年7月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	3,976	—	△26	—	△37	—	△39	—
27年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年6月期第1四半期 △283百万円 (—%) 27年6月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	△12.19	—
27年6月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、平成27年6月期第1四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年6月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年6月期第1四半期	11,944	3,945	28.1	1,034.54
27年6月期	11,969	4,098	29.2	1,166.34

(参考) 自己資本 28年6月期第1四半期 3,361百万円 27年6月期 3,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	—	—	30.00	30.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成28年6月期の連結業績予想（平成27年7月1日～平成28年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,724	6.7	728	12.0	602	△17.4	366	△8.2	112.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年6月期1Q	3,248,900株	27年6月期	2,998,900株
② 期末自己株式数	28年6月期1Q	－株	27年6月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年6月期1Q	3,214,639株	27年6月期1Q	－株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済におきましては、政府による経済対策や日銀の金融緩和を背景に、企業収益や雇用状況の改善が見られたものの、中国を中心としたアジア新興国経済の成長鈍化による景気の下振れ、物価高騰による個人消費への影響等により先行き不透明な状況が続いております。

世界経済におきましては、米国経済が引き続き堅調に推移し、欧州も回復傾向にありましたが、中国経済の減速への懸念が強まり、米国で予想される利上げへの警戒感も加わり、東南アジア経済についても不透明な状況が続いており、世界の株式市場にも動揺が広がりました。

このような経済状況のもとで、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,976,490千円、営業損失は26,453千円、経常損失は37,031千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は39,191千円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① 日本

輸送機器関連分野においては堅調な業績とともに、新製品の開発やモデルチェンジも活発化しております。デジタル機器分野においては、オフィス向けは業績も堅調で製品開発も堅調に行われていますが、コンシューマー向けは一部に回復の兆しもあるものの、全般的には低調でした。医療機器・ヘルスケア分野は堅調に推移しております。しかしながら上場関連費用が当第1四半期連結累計期間に集中し、また退職給付に係る年金資産の減少により退職給付費用が追加的に発生しました。

このような状況のもとで、日本では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は942,715千円、セグメント損失は82,324千円となりました。

② 中国地域

デジタル機器分野では、オフィス向けは安定していますが、中国での製造業全般的に生産量そのものが減少傾向にあります。一方で医薬品、医療機器、ヘルスケア分野は伸びています。また新たな取引として日用品分野の取引も始まっています。

このような状況のもとで、中国では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,022,335千円、セグメント利益は11,035千円となりました。

③ 東南アジア地域

フィリピンやベトナムでは中国からの生産移管などにより、輸出型製造業の新規投資や生産量が増えています。一方でインドネシアでは人件費の急騰や組合活動の活発化、タイでは政情不安定などにより、輸出型製造業の生産や新規投資が停滞しています。

このような状況のもとで、東南アジアでは、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,600,358千円、セグメント利益は41,219千円となりました。

④ 欧米地域

米国では輸送機器分野は堅調のため、業務を絞り収益性の確保を目指し体制の再構築を行っています。ヨーロッパでも輸送機器分野が堅調です。

このような状況のもとで、欧米では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は411,081千円、セグメント利益は5,857千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は8,892,805千円となり、前連結会計年度末に比べ100,324千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が180,270千円増加したことによるものであります。

固定資産は3,051,432千円となり、前連結会計年度末に比べ125,284千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が123,045千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、11,944,238千円となり、前連結会計年度末に比べ24,960千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,274,320千円となり、前連結会計年度末に比べ206,809千円増加いたしました。これは主に短期借入金が363,106千円増加したことによるものであります。

固定負債は2,724,367千円となり、前連結会計年度末に比べ78,691千円減少いたしました。これは主に長期借入金が43,881千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、7,998,688千円となり、前連結会計年度末に比べ128,117千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,945,550千円となり、前連結会計年度末に比べ153,077千円減少いたしました。これは主に資本金及び資本剰余金がそれぞれ110,400千円増加いたしました。利益剰余金が129,158千円、為替換算調整勘定が232,808千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期の連結業績予測につきましては、当社の業績は季節要因等により下期偏重の傾向があること、経費のコントロールが出来ていること、為替や株価の見通しが大きく乖離していないこと等により、平成27年8月12日の「平成27年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,462,856	3,643,126
受取手形及び売掛金	2,671,231	2,652,627
商品及び製品	963,797	963,662
仕掛品	743,901	707,061
原材料及び貯蔵品	298,310	266,779
繰延税金資産	174,477	180,980
その他	483,087	483,961
貸倒引当金	△5,181	△5,394
流動資産合計	8,792,481	8,892,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	584,474	549,055
機械装置及び運搬具（純額）	1,232,853	1,137,720
工具、器具及び備品（純額）	201,991	211,253
土地	220,641	218,884
有形固定資産合計	2,239,960	2,116,915
無形固定資産		
199,132		179,170
投資その他の資産		
投資有価証券	96,485	93,290
退職給付に係る資産	97,413	61,341
繰延税金資産	205,687	232,284
その他	343,482	373,874
貸倒引当金	△5,445	△5,445
投資その他の資産合計	737,624	755,346
固定資産合計	3,176,717	3,051,432
資産合計	11,969,198	11,944,238

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,206,555	1,125,414
短期借入金	1,830,492	2,193,599
1年内返済予定の長期借入金	1,144,214	1,126,239
リース債務	119,638	114,728
未払法人税等	58,124	44,007
賞与引当金	89,092	135,478
未払金	566,587	481,025
その他	52,805	53,825
流動負債合計	5,067,511	5,274,320
固定負債		
長期借入金	2,448,533	2,404,651
リース債務	126,100	102,837
役員退職慰労引当金	38,627	40,564
退職給付に係る負債	189,010	175,796
その他	787	517
固定負債合計	2,803,059	2,724,367
負債合計	7,870,570	7,998,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	105,000	215,400
資本剰余金	30,000	140,400
利益剰余金	3,030,570	2,901,412
株主資本合計	3,165,570	3,257,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,362	2,101
為替換算調整勘定	370,820	138,012
退職給付に係る調整累計額	△42,013	△36,197
その他の包括利益累計額合計	332,169	103,916
非支配株主持分	600,887	584,421
純資産合計	4,098,627	3,945,550
負債純資産合計	11,969,198	11,944,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,976,490
売上原価	3,138,913
売上総利益	837,577
販売費及び一般管理費	
役員報酬	11,790
給料	309,592
賞与引当金繰入額	19,152
役員退職慰労引当金繰入額	1,936
退職給付費用	27,074
貸倒引当金繰入額	366
減価償却費	24,948
賃借料	82,700
研究開発費	19,713
その他	366,754
販売費及び一般管理費合計	864,030
営業損失(△)	△26,453
営業外収益	
受取利息	2,280
受取配当金	103
作業くず売却益	7,138
助成金収入	5,315
その他	10,006
営業外収益合計	24,845
営業外費用	
支払利息	28,367
その他	7,055
営業外費用合計	35,423
経常損失(△)	△37,031
特別利益	
固定資産売却益	1,482
特別利益合計	1,482
税金等調整前四半期純損失(△)	△35,549
法人税、住民税及び事業税	37,061
法人税等調整額	△40,408
法人税等合計	△3,346
四半期純損失(△)	△32,202
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,988
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,191

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 （自平成27年7月1日 至平成27年9月30日）
四半期純損失（△）	△32,202
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,260
為替換算調整勘定	△256,263
退職給付に係る調整額	5,816
その他の包括利益合計	△251,708
四半期包括利益	△283,910
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	△267,444
非支配株主に係る四半期包括利益	△16,466

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年7月8日に東京証券取引所JASDAQスタンダードに上場いたしました。当社は上場にあたり、平成27年7月7日に公募増資による払込みを受け、資本金及び資本剰余金（資本準備金）がそれぞれ84,345千円増加しております。

また、平成27年8月4日にオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による払込みを受け、資本金及び資本剰余金（資本準備金）がそれぞれ26,054千円増加しております。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が215,400千円、資本剰余金（資本準備金）が140,400千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国地域	東南アジア 地域	欧米地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	942,715	1,022,335	1,600,358	411,081	3,976,490	—	3,976,490
セグメント間の内部 売上高又は振替高	153,125	37,281	9,146	49,807	249,360	△249,360	—
計	1,095,840	1,059,617	1,609,504	460,889	4,225,851	△249,360	3,976,490
セグメント利益 又は損失 (△)	△82,324	11,035	41,219	5,857	△24,212	△2,241	△26,453

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。